

令和7年12月議会 宇都宮市議会定例会報告

宇都宮市議会では、令和6年9月議会の一般質問から「会派持ち時間制」が導入され、各定例会に登壇する質問者は20分、40分、60分のいずれかを選択することになり、3名以上の会派には、「代表質問」の1名のみ10分間を加算できるようになりました。

代表質問 70分 高橋英樹

質問項目

- 1 行政DXの推進について
- 2 年末年始の医療体制について
- 3 ライトラインについて
 - 1) 速達性の向上
 - 2) 安全性の向上
 - 3) JR宇都宮駅西側への延伸
- 4 スポーツを活用したまちづくりについて
- 5 水道料金・下水道使用料の改定について
- 6 JR宇都宮駅西口駅前広場の整備について
- 7 不登校対策について



高橋英樹市議
録画配信HPの
QRコード

質問及び答弁（抜粋）

3 ライトラインについて

1) 速達性の向上

Q ライトラインの運転速度向上により所要時間の短縮を期待する声もある中、「特認」取得に向けた関係機関との協議の進捗について伺うとともに、今後、安全性の評価・検証をどのように実施するのか伺う。

A 【市長答弁】現在、速度向上を行った際の「視認性の確保状況」や「ブレーキ制動距離の変化」などの具体的な評価項目の抽出や段階的な走行試験の必要性について協議を進めている。

今後、速度向上時における安全性について、有識者からのご意見を伺いながら、本線上での走行試験などを実施し、安全性の評価・検証を行っていく。

2) 安全性の向上

Q 信号機と連動させることができる道路埋込型の信号機を設置するなど、ライトラインと自動車等との接触事故を防止する対策の強化が必要と考えるが見解を伺う。

A 【建設部長答弁】宇都宮駅東口停留場東側の交差点でのライトラインと自動車との接触事故は、いずれも自動車運転手による信号機の確認

不足が主な要因であり、宇都宮ライトレール(株)や警察等と現場検証や協議・調整を行い、注意喚起を行うための路面標示やLED注意喚起標識板の設置など、様々な対策を実施してきた。

道路埋込型信号機については、有効性や信号機との連動など、関係機関との慎重な協議・調整が必要であることから、まずは現在検討を進めている信号現示の変更等について準備が整い次第、実施していく。

3) JR宇都宮駅西側への延伸

Q 車両費は1編成あたり約8億円と駅東側導入時の約2倍となっており、コスト削減の取組が必要である。今後、車両費用の低減に向けて、どのように取り組むのか伺う。

A 【建設部長答弁】現在、複数の車両メーカーへ基本仕様を提示しながら、参入可能性や車両価格等についてヒアリングを進めている。車両価格は、近年の人件費や燃料費の上昇に加え、海外製部品や電子機器等の物価高騰により価格が上昇していると伺っている。

今後、車両メーカーへのヒアリングを実施する中で、為替の影響を受けない車両部品の国産化や他の軌道事業者との部品の共通化について意見交換を行うなど、車両購入費の低減に向けた手法を検討していく。

個人質問 60分 郷間康久

質問項目

- 1 市長の政治姿勢について
 - 1) 市制130周年事業
 - 2) LRTのJR宇都宮駅西側延伸における部分開業
 - 3) 「はやて」のJR宇都宮駅停車
- 2 公共交通体系の再構築について
 - 1) 郊外部における定時定路型交通体系の整備
 - 2) 公共交通の運転手確保策
- 3 文化行政について
 - 1) 文化財調査員の拡充
 - 2) 飲食店のない宇都宮美術館
- 4 東部地域の観光振興策について
 - 1) アークタウン宇都宮の観光拠点化
 - 2) 「おにハチ」の整備と安全対策



郷間康久市議
録画配信HPの
QRコード

5 ルッキズム差別につながる「ちびっこ」表現の変更について

質問及び答弁（抜粋）

1 市長の政治姿勢について

2) LRTのJR宇都宮駅西側延伸における部分開業

Q LRTをJR宇都宮駅の西側に延伸させる計画については、最小限のタイムラグで東西を結ぶことが重要であると考えため、まずは「東武宇都宮駅前停留場」までの区間を先行して連結させる「部分開業」方式を提案したいと思うがいかがか。

A 【建設部長答弁】部分開業など様々な意見があることは承知しているが、現在、(実施計画に関して)国の審査を受けているところなので、許可後の見解に関する答弁は差し控えたい。(部分開業のための)計画変更申請については必要となった場合に検討する。

2 公共交通体系の再構築について

1) 郊外部における定時定路型交通体系の整備

Q 平石地区内のバス路線減便に伴う利便性回復策として、JR岡本駅を起点として自治会集会所等を往訪しながら南進する定時定路型ジャン

ボタクシー路線は実現するのか。

A 【総合政策部長答弁】意向調査の結果をもとに、地域の皆さまと意見交換を重ね、運行の可能性について検討していく。

3 文化行政について

2) 飲食店のない宇都宮美術館

Q 本年8月から宇都宮美術館のレストランが休業したままとなっている。この問題に関する市の対応策をお聞かせいただきたい。

A 【魅力創造部長答弁】令和8年2月を目途にレストラン事業者を決定できるよう準備を進めている。それまでの間は、ミュージアムショップで飲み物を提供できるようにし、軽食の販売も検討しつつ、周辺スペースで飲食できるようにしたい。

4 東部地域の観光振興策について

1) アークタウン宇都宮の観光拠点化

Q 平出町に整備される東部総合公園「アークタウン宇都宮」の開園日と来年度の貸切予約の状況を教えていただきたい。

A 【市長答弁】開園日は令和8年3月下旬で調整しており、来年度の貸切イベント等については、現時点で約20件の事前予約が入っている。

個人質問 40分 佐藤孝明

質問項目

- 1 防災・避難訓練について
- 2 ライトラインについて
 - 1) JR宇都宮駅西側開業までのタイムスケジュール
 - 2) 飛山城跡停留場の駐車場拡充
 - 3) JR宇都宮駅西側延伸区間の乗り継ぎ拠点
- 3 公共施設マネジメントについて
 - 1) 小中学校を核とした地域拠点の整備
 - 2) 栃木県との連携
- 4 学校と教師の業務の3分類に係る働き方改革について



佐藤孝明市議
録画配信HPの
QRコード

質問及び答弁（抜粋）

1 防災・避難訓練について

Q 災害が起きた際、行政、災害協定企業、住民の連携が速やかに行えるか日頃から確認する必要があると考えるが、官民連携や防災DXの進捗状況と宿泊型避難訓練について見解を伺う。

A 【市長答弁】官民連携の進捗については、民間企業等と148件の災害時応援協定を締結しており、平時から災害に関する訓練や意見交換を行っている。さらに、市内全39地区の自主防災会と地域の防災訓練などに協力いただける防災協力事業所の連携を促進するなど、緊密な官民連携体制を構築している。また、防災DXの進捗については、防災情報をいち早く市民に提供するため、「市登録制防災情報メール」や「避難所開設状況管理システムの導入」など様々なデジタルツールを活用し、防災システムの高度化に取り組んでいる。

さらには、市内全39地区の自主防災会が主体となり、地域の実情に合った防災訓練を実施する中、企画段階からの助言や職員派遣のほか、消費期限

が切れる前の非常食の提供など地域との連携を図っている。宿泊型避難訓練については、参加者から貴重な体験ができたとの声もあり、自主防災会の代表が集まる連絡会議において取組事例のひとつとして紹介するとともに、引き続き、地域の意向やニーズを踏まえながら、地域の取組を積極的に支援していく。

2 ライトラインについて

2) 飛山城跡停留場の駐車場拡充

Q 駐車場スペース増設後も満車となる日があり、暫定的に整備された砂利敷き舗装は悪天候時にぬかるみ、利用者の心理的負担となっている。暫定的な駐車スペースの本整備に加え、駐車場のさらなる拡充が必要であると考えますが、見解を伺う。

A 【建設部長答弁】飛山城跡停留場の駐車場については、平日を中心に満車傾向にあり、本年実施した利用者アンケートにおいて余裕のある駐車台数を求める意見も寄せられた。今後は、当駐車場の舗装整備など、更なる利便性の向上に向けて検討していく。

私たちは皆様の声を市政に活かします!!

次回 令和8年3月議会質問予定者
中塚英範・大久保順也・横須賀咲紀